

○ 日本側所蔵記録

資料番号	J. II-27	資料名	朝鮮通信使歓待図屏風
------	----------	-----	------------



(図版は左隻)

屏風装 紙本金地著色 〔縦×横〕 166.6×500.0cm

右隻は朝鮮通信使が江戸城に登城する様子、左隻は江戸城大広間での幕府による応接の様子を画いている。作者は幕府御用絵師の狩野益信。画中に登場する朝鮮通信使は1655年使行と考えられている。将軍一代の盛儀として、華やかで厳粛な雰囲気が伝わるとともに、幕閣や朝鮮通信使が活写されている。2代将軍秀忠の娘である和子(東福門院)の遺品と考えられている。

記録画としての価値もさることながら、朝鮮通信使をモチーフにした観賞画として特に価値が高い。